

宮古島市記者会見資料

航空自衛隊宮古島分屯基地で発見された地中構造物中の汚染水について（第3報）

令和8年8月3日

宮古島市環境衛生局

前回会見（7月1日第2報）以降の経過は以下の通りです。

- （1）地中構造物中の汚染水はほぼ回収終了（約4 m<sup>3</sup>）。汚泥等の回収は継続中。
- （2）回収した汚染水等は、令和8年7月15日（水）より平良港から島外搬出を開始し、7月30日までに合計3回、島外へ搬出した。

7月30日時点での回収・搬出状況

| 回収物  | 収容形態                        | 回収数量  | 島外搬出済数量 |
|------|-----------------------------|-------|---------|
| 汚染水等 | IBC コンテナ（1 m <sup>3</sup> ） | 6 個   | 6 個     |
| 汚泥等  | ドラム缶（0.2 m <sup>3</sup> ）   | 220 缶 | 168 缶   |

※汚染水の水量は約4 m<sup>3</sup>。これを上回る水量は汚泥回収作業や洗浄に伴う排水。

- （3）汚泥等回収作業の状況について

地中構造物中の堆積物は、礫が混ざった状態で強く固結しており、強い力を掛けた場合に、構造物に亀裂等を発生させる可能性があるため、少量ずつ、削り取るように回収作業を進めている。慎重な作業が必要となったこと、防護服を着た作業員の熱中症対策が必要であること、台風や雨などの影響で作業が中断したことなどから、日数を要している。現時点では8月末の完了を見込んでいる。

- （4）その他

構造物の深さが現認できていない。当初、構造物内の堅い底の部分が構造物底面と思い、構造物の高さを2 mとしたが、堅い部分は固結した汚泥の上面であった。真の高さは不明であるため、回収すべき汚泥の総量も不明となっている。防衛局では、今後、構造物の外側を掘削して高さなどを確認することも検討している。

本件に関するお問い合わせ先

宮古島市環境保全課 79-5283 課長 川満朝和

水道総務課 72-2653 課長 下地貞盛

沖縄防衛局報道室 098-921-8131（内 175, 176）